

社山山行報告

【山行日】 2014年 8月 17(日) 曇り
【集 合】 栃木市運動公園P AM 6:00
【費 用】 マイカー1台 : 1,600円
【メンバー】 A CL:鈴木、梶内、島田、福田々
B CL:大西 田村、福田ヶ



【コースタイム】 A: 栃木市運動公園 P6:00=
半月山第2P7:20~展望台 7:50~半月峠 8:20~

阿世瀉峠 9:20~社山 10:50~1550P11:30/12:00~阿世瀉峠 12:30~半月峠 13:30~半月山第2
P14:10/14:20=栃木市運動公園 P16:30

B: 半月山第2P7:20=歌が浜 P7:50~八丁出島 8:50~阿世瀉 9:30~大日崎 10:30~阿世瀉
11:20/12:00~狸窪 12:40~歌が浜 P13:30=半月山第2P13:50/14:20

夏山後半のトレーニング山行として、日光の社山を計画した。社山には登れないが、トレーニングで歩きたいとの要望があり、中禅寺湖畔のハイキングと組み合わせて計画した。

歌ヶ浜駐車場でトイレを済ませ、半月山第2駐車場へ向かう。社山グループを駐車場へ下ろし、中禅寺湖畔グループは歌ヶ浜へ戻る。

天気は曇り空でガスが掛かっているが、昼頃から晴れる予報なので期待して登り始める。

展望台までは観光客も登るので、広くて歩き易い道だ。20分ほど頑張ると木製の展望台に着く。

ところが今日もヘマをやってしまった。カメラを車の中に忘れてしまった。痴呆症なのかな？

中禅寺湖や男体山、奥白根山からこれから登る社山まで良く見える。「あれが社山だよ。」と言うと「エ~あんな遠くまで行くの?」と心配そう。南側の足尾の山は雲海の下で何も見えなかった。

展望台からは西側へ下り、15分くらいで半月峠に着く。ここからさらに西へ登り返し、中禅寺山から下ると阿世瀉峠に着く。ここが本日の最低部で1410m、ここから社山まで415m登り返す。

峠で案内板を見ているグループがおり、迷っているようなので「どちらへ登るのですか?」と聞くと、社山へ登るのだが帰りは半月山から茶ノ木平経由で歌が浜へ戻りたい様子。「この時間ここにいるのでは、社山をピストンして茶ノ木平まで行くのは時間的に無理です。」と言うと諦めきれない様子。



我々は先に出発し、急登をゆっくり登っていると先ほどのグループがすぐ後ろまで迫って来た。

抜いてゆくのかなと思ったら、速いのは先頭の男性と二番手の女性だけ。後が付いてこられず次第に離れていった。途中展望の良いピークで休憩をとり、果物をいただく。中禅寺湖側は展望があるが、南の足尾側は雲海が広がり何も見えない。登山道に起伏があり、山頂かなと思うとまだ先にピークがあり中々山頂に着かない。

左側の大きな岩を過ぎ、傾斜が緩くなって樹林帯を過ぎると山頂の看板が見えてきた。

社山山頂からの眺望は余り良くない。先に5分くらい進んで樹林帯を抜けると広い笹原に出て、黒檜岳や奥白根山の展望が得られるが、足尾側は相変わらず雲の下で何も見えない。

山頂まで戻り、来た道を降りて行くと先ほどのグループが登って来た。やはり茶ノ木平までは無理なようだ。ガスがだんだん濃くなり、朝よりも視界が悪くなってきた。来るときに休憩をとったピークで昼食を摂る。今日のランチは焼きそば。今日は女性がいないので、焼きそばとおにぎりだけで少しさみしかったが美味しかった。阿世潟峠まで降りて中禅寺山へ登り返し、半月峠に下って展望台まで登り返す。帰りはアップダウンがきつく、途中何回か立ち休みを取りながら登った。

展望台へ登る途中、TEL があり、これから半月山第2駐車場へ向い2時前には着くとの事。2時10分くらいになると伝えて登りを頑張る。展望台に着き、最後の休憩をとり、眺望を楽しもうとするが男体山も山頂に雲がかかっていた。展望台からは余裕の下り、車が見えると元気が出て足取りも軽くなる。無事駐車場で再会し、お互いの健闘を称え合う。中禅寺湖畔組も八丁出島を探索し、冒険を楽しんだ様子。車中でお互いの今日の行動を話しながら、楽しく帰路についた。